平成 28 年（2016 年）3 月 14 日
建　設　委　員　会　資　料
都市政策推進室野方・井荻駅間沿線まちづくり担当

西武新宿線野方駅から井荻駅間の連続立体交差化の進展について

1　概要

西武新宿線の連続立体交差化については、現在、中井駅から野方駅間で工事が進められている。一方、野方駅から井荻駅間については、東京都の事業候補区間に位置付けられているが、これまで新たな動きはなかった。

平成 28 年 2 月 23 日の東京都議会平成 28 年第 1 回定例会の代表質問において、連続立体交差事業の新規事業化に向けた今後の取組みに関する質問に対して、野方駅から井荻駅間を社会資本総合整備計画に位置づけ、事業化に向けて一歩踏み出すとの答弁があり、当区間の連続立体交差事業の早期実現に一歩近づいた。

中野区としては、野方駅、都立家政駅及び鷺ノ宮駅周辺地区の駅前広場や都市計画道路の整備、にぎわいの再生など、まちづくりを具体的に進めていく。

2　補足

野方駅から井荻駅間の構造形式や今後のスケジュールなど、詳細については未定である。

（参考）答弁の要旨

連続立体交差事業の新規事業化については、新規事業化を検討している区間のうち、西武新宿線の野方駅から井荻駅間及び井荻駅から東伏見駅間、京浜急行本線品川駅から北品川駅付近の三区間を社会資本総合整備計画に位置付け、事業化に向けて一歩踏み出すこととした。今後とも必要な財源の確保に努め、地元区市や鉄道事業者と連携し、事業を推進していく。